

パラグアイからHola (こんにちは)

4月から海外の日本人学校で勤務されている2人の先生の活動を紹介します。今月は三豊市立二ノ宮小学校校長からパラグアイのアスンシオン日本人学校校長としてへ派遣されている新井先生です。



私の勤務する学校の紹介をします。

アスンシオン日本人学校は、小学部12名、中学部3名で合計15名です。毎朝、7時50分にスクールバスで登校して来る子どもたちを先生方全員

で迎えます。元気な「おはようございます」の音が学校中に響きます。

毎日、朝の会でスペイン語会話をしています。今週は、
ケ キエレス キエロ ウン リプロ
 Que quieres? Quiero un libro.

(何が欲しいですか? 本が欲しいです。)

昼食は、毎日お弁当です。涼しいときは、全員中庭で車座になって、おしゃべりをしながら楽しく食べています。

最近の学校行事を紹介します。毎年1回、2泊3日で移動教室(日本の修学旅行に似た内容)を実施しています。今年は、6月28日から30日まで、パラグアイにあるイグアス移住地(戦後5番目の移住地)、ブラジルにあるイグアスの滝などを見学に行きました。

今年は日本人のパラグアイ移住70周年に当たる年です。9月8日に記念行事が行われ、本校でも日本からお客様がお見えになると言うことで、その準備をしています。

パラグアイは、日本のように四季がはっきりしません。しかし、現地の先生にお聞きすると6月21日から冬に入ったそうです。確かに、朝晩は9度前後(毎日ではありません)で寒いのですが、日中は30度前後になります。そのため、服装は、朝晩は冬用(トレーナーなどを着用)、日中は夏用(半袖など)です。1日に四季を経験する国です。ですから、休日など歩いている人の服装を見ていると、半袖半ズボンの人もいれば、セーターに長ズボンの人もいて、今はいったい季節はいつ?と言う心境になります。

今回はこの辺で。また10月号でお会いしましょう。

アスンシオン日本人学校校長 新井 富夫



パラグアイ移住70周年記念行事の練習風景

※アスンシオン日本人学校のホームページ <http://www.geocities.jp/coljap2/> もご覧ください。

少年育成センター

一般用	72-5039
FAX	72-5497
少年相談	72-5024

とうとうわが市でも重大事件が発生しました。早朝のテレビニュースで見ただけ、交差点やJR駅での補導を終えて、センター事務所に戻り、インターネットを開くと、「当て逃げした車の中に・女性遺体」の見出しで、「三豊市豊中町岡本の県道」、「逃げた運転手」などの文字が目飛び込んできました。

私たちは、教育長や警察の許可をもらって、市内各学校にファックスで情報を流し、注意を呼びかけました。もちろん、広報車による(たつた2台で微力ではあるが)パトロールも行いました。各学校では、複数下校、出迎え、帰ったら外出しないなど、適切と思われる措置が取られ、まず第1日目は事無きを待ちました。第2日目を迎え、いつもと違った緊張感を覚えな

が小学生の通学を見守り、交差点の安全確認、駅での補導を終えてセンターに向かいました。昼には容疑者逮捕の報道を知り、今度は急ぎながらも余裕を持ってファックス・・・。

(あれからはやひと月)今も毎日のように起こる凶悪事件が新聞やテレビをにぎわせています。なぜこんなに簡単に人が殺せるのでしょうか。その時には何か理由や動機があったにせよ、法的に認められるものの他は、人は人の命を奪ってはならない。それが人の道です。殺人、強盗、放火、暴行。これらは全て、人の道の外です。また、これらに「誘ったり」、「させる」ことも人道外と言えるでしょう。

今度の容疑者逮捕では、警察力のすごさにも感動しましたが、一般人の通報も大いに役立ったと聞いています。

三豊市では、不審者情報を放送を通じてお知らせしていますが、安全安心に対する市民の皆さんの関心は確実に高まってきています。その心と目で、我々センターからだけではどうしても見えない、まちの隅々まで見ていただくことが、事件にまで発展させない大きな力になります。もちろん、警察やセンターへの連絡もよろしく願います。